

PRESS RELEASE (2023/08/17)

九州大学と JICA がタッグを組んだ国際地熱研修コース 本邦研修を再開 —世界7か国10名の研修員が参加—

九州大学大学院工学研究院で実施する国際研修コース「地熱資源エンジニア」は、今年、満を持して本邦での研修を再開します。

地熱発電はベースロード電源になり得る環境に優しい国産のエネルギーであり、地熱資源を持つ国での開発が進められています。一方で開発リスクの高さから地熱資源開発が進まない国も多く、資金確保だけでなく人材育成が喫緊の課題となっています。

本コースは JICA 九州と連携して 2016 年に再始動しましたが、コロナ禍で 2020 年は中止となり、2021 年と 2022 年は 6 週間のオンライン講義のみの実施となりました。今年来日する研修員は各国で地熱資源開発を担う機関の技術者や政策策定の担当で、4 か月の研修はプロジェクトスタディがメインとなり、自国から持参したテーマの研究を進め、研修終了時に研究成果の発表を行います。

本コースを開始するにあたり、今年も下記日程で開講式を行います。

〈地熱資源エンジニアコース 開講式〉

日時： 8月23日(水) 16:30-17:00

場所： 九州大学工学部第一会議室 (福岡市西区元岡 744 ウエスト 4 号館 420 号室)

コースリーダー(藤光教授)からひとこと：

研修員の皆さんが来日できるようになって、とても嬉しいです。本コースの修了生の中には、さらに専門性を高めて修士や博士の学位を取得するために、JICA の留学プログラムを活用して再び九州大学で学んでいる方々も少なくありません。



▲2019 年 開講式の様子。またこのような形で研修員の皆さんを迎え入れることができます



藤光 康宏 教授

〈国際研修コース「地熱資源エンジニア」〉

九州大学では 1970 年から 2001 年まで 36 か国約 400 名の研修員を JICA 地熱研修コースで受入れてきました。2016 年にこのコースを刷新して再始動しました。

■今年度研修参加国： 7か国10名

コスタリカ、ジブチ、エチオピア、インドネシア、ケニア、パプアニューギニア、タンザニア

■実施期間：2023年8月23日(水)～2023年12月15日(金)

取材について

開講式の取材をご希望の際は、事前申込は不要です。直接会場へお越しください。